

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果より

～我孫子第四小学校～

学力について

- 国語 … 全国・県平均正答率を『上回る』結果だった。
算数 … 全国・県平均正答率を『上回る』結果だった。
理科 … 全国・県平均正答率を『上回る』結果だった。

国語について

- 『知識及び技能』『思考力、判断力、表現力等』のどの内容でも正答率が高い。

算数について

- 『数と計算』『図形』『変化と関係』『データ活用』のどの領域でも正答率が高い。

理科について

- 『エネルギー』『粒子』『生命』『地球』のどの領域でも正答率が高い。

自尊意識
生活習慣等

☆児童に対する質問紙調査結果より

教科への関心について

- 国語への関心は全国・県平均より『低い』結果だった。
○算数への関心は全国・県平均より『高い』結果だった。
○理科への関心は全国・県平均より『高い』結果だった。
○学習したことは、社会に出たときに役立つと思っており、生活の中で活用していきたいと考えていると児童が多い。

生活習慣について

- 規範意識が高く、基本的な生活習慣が身につけている児童が多い。

読書習慣について

- 読書が好きな児童が多い。

家庭学習の習慣について

- 土曜日や日曜日に2時間以上勉強をしている児童が多い。
○家で自分で計画を立てて学習している児童が多い。

その他について

- 自分にはよいところがあると認識している児童が多い。
○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家庭で話し合い、約束したことを守っている児童が多い。
△地域のために何かできることを考えているが、地域との関わりが少ない児童が多い。

【調査結果からの今後の取り組みについて】

国語

- 全国や県平均よりは高いが、記述式の問題形式に対応することに課題がある。どの教科においても、学習の振り返りを丁寧に行い、自分の言葉でまとめを書くようにする。
- 文章を書く際は、目的や相手を意識し、それらに応じた書き方をしていく。
- 国語科の学習を中心に、短作文や日記を書く時間を設け、書くことに慣れ親しむ。

☆上記の他に、我孫子市の分析による国語科の日常的な取り組みも実施していきます。

算数

- 図形を構成する要素や性質を表す言葉等算数で学んだ知識を活用する場面を設定して、知識及び技能の定着を図る。
- 問題解決型の学習を取り入れ、目的意識を持って取り組めるようにする。
- 算数の学習が生活のどの場面で生かすことができるのかを考えて活用していく学習を取り入れる。

理科

- 器具の名称や事象を表す言葉については、十分な観察や実験を通して理解していく。
- 理解した事象や実験で得た結果について分析し、解釈し、結論を出して自分でその過程を記述していく活動を多く取り入れていく。
- 理科の学習が生活のどの場面で生かすことができるのかを考えて活用していく学習を取り入れる。

☆上記の他に、我孫子市の分析による算数科の日常的な取り組みも実施していきます。

自尊意識・生活習慣・その他

- 自他の良さを認め、励まし合える指導・活動を継続する。
- 高い規範意識を継続するために、今後も『四小児童の基礎・基本』を大切に指導する。
(・『ハイ』という返事 ・あいさつ ・『ありがとう』『ごめんなさい』・くつ、かさをそろえる)
- 1人1台タブレット端末を活用することで、課題の選択による個別学習や、協働作成ツールを用いての協働学習をすすめていく。